

横浜市大 探査会・探検部OB会 設立の趣旨と会則の活かし方

～緩やかなO B会組織と最小限のルールを元にして～

幹事長（事務局）： 川尻 哲夫

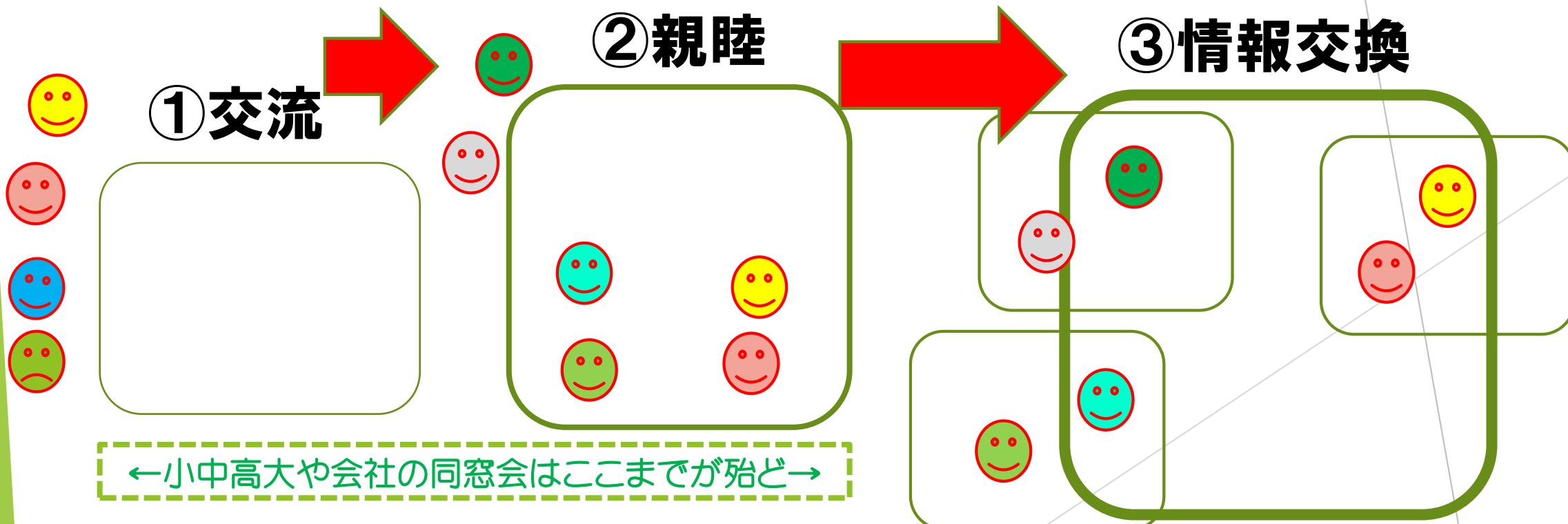
2017年（平成29年）7月1日

1. OB会の目的とは？

その1：会員相互の交流、親睦、情報交換を図ります。

- ①**交流**とは、これまで接触がなかった会員同士が行き交うことを意味します。
- ②**親睦**とは、会員同士がさらに親しみを深めることを意味します。
- ③**情報交換**とは、仕事・趣味・家庭等で役に立つ情報を相互に交換し合うことを意味します。

旧「探検・探査の会」
の場合は



2. OB会の目的とは？

その2：探検部現役部員の活動支援を行います。

①資金援助

②技術指導



⑤救援活動

③情報提供

④人脉活用

3. OB会会員とは？

- (1)一度でも探査会・探検部に入部した者は、全てOB会の会員です。
- (2)顧問等を務めた市大元教職員も入会資格者とします。
- (3)山岳部OBで、入会を希望する者も入会資格者とします。



■中途退部者、中途退学者も会員資格者とします。

→会員名簿に記載します。

■現役部員が卒業すると、自動的に会員資格者とします。

→会員名簿に記載します。



但し、OB会が存続する限り

探検部が存続して、入部者が続く以上、OB会会員は増加して行きます。

4. 現在のOB会会員を階層・人数で見ると……

(D)役員(役員、幹事、相談役、顧問) 20人
(3点有りで、本人承認、3年任期)

そのために、
役員が手分けする

(C)メーリングリスト会員 約50人
(3点有りで、本人承認)

ここを増やして
情報伝達を早くして
事務量を減らす

(B)一般会員 100人～150人
(①住所②電話③メルアド有り、又はいずれか無し)

この調査と
記載作業が大変

(A)対象会員 約240人

4. 現在のOB会会員を就業・年齢で見ると……

(A)60歳以上

定年後、年金生活が始まって、親の介護や就活を開始する世代

(B)40歳～60歳

仕事、生活が一段落して、定年後の生活設計を考え出す世代

(C)22歳～40歳

就職、結婚、子育、昇進等で脂が乗っている世代

高齢化に伴い、対象者は減少していく

1950年頃(創設期)～
1975年頃迄に入部した世代
(約110人・逝去した会員もいる)

(A)の世代へ移行していく

1975年頃～
1995年頃迄に入部した世代
(約70人・活発な現役時代)

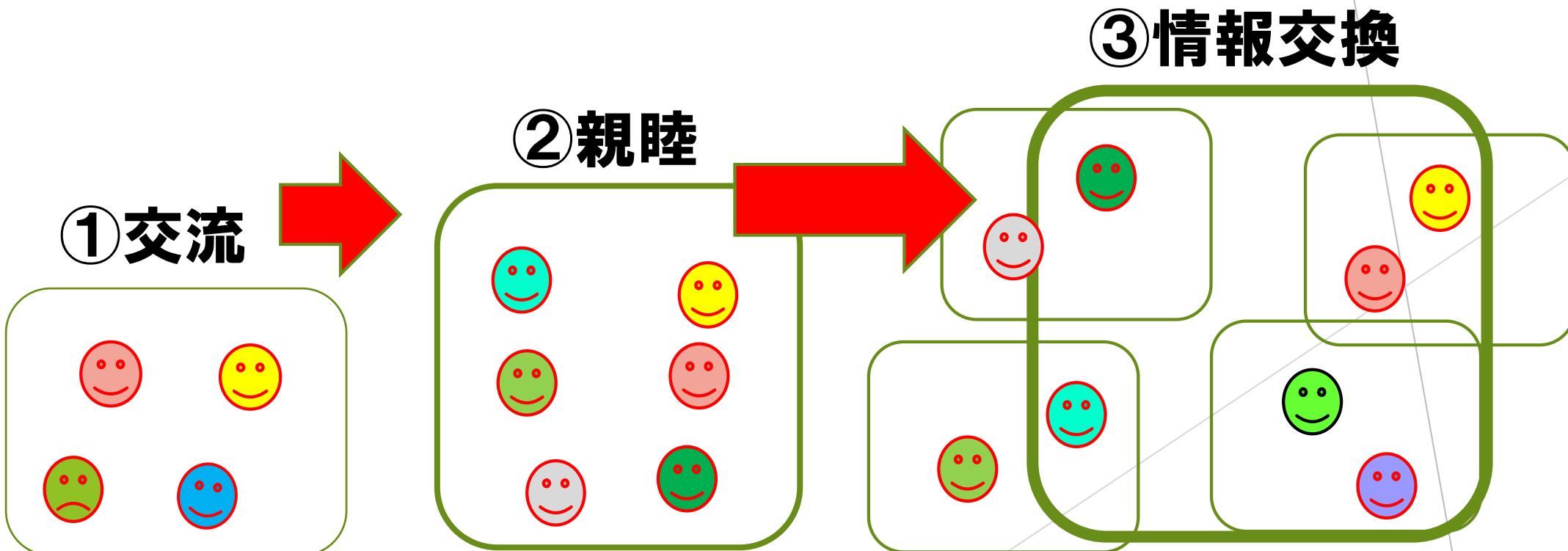
(B)の世代へ移行していく

1995年頃～
2010年頃迄に入部した世代
(約50人・連絡先がつかめない世代)

5. OB会活動の活発化によって得られる個人のメリット

(1)年齢を重ねれば、誰しも体力は衰え、人との接触機会も減少し、孤独感は増大する。
そこで、①→②→③を活発化させることで、残された人生に活力を吹き込む。

(2)いざれ終活に取り組む時が来るので、青春の一コマを探検部の記録に残しつつ、
現役の活動を支援する役割を果たす(=終える)。



6. では、どうすれば①→②→③は活発化できるのか？

(1)WEBサイトでの情報発信を強化する

- ①記録の保存・整理 ②個人会員のサイトとのリンク ③現役の活動を発信(リンク) ④…

(2)年1回の総会で、「私のライフワーク」の発表を継続して、会員の参加者を増やす。

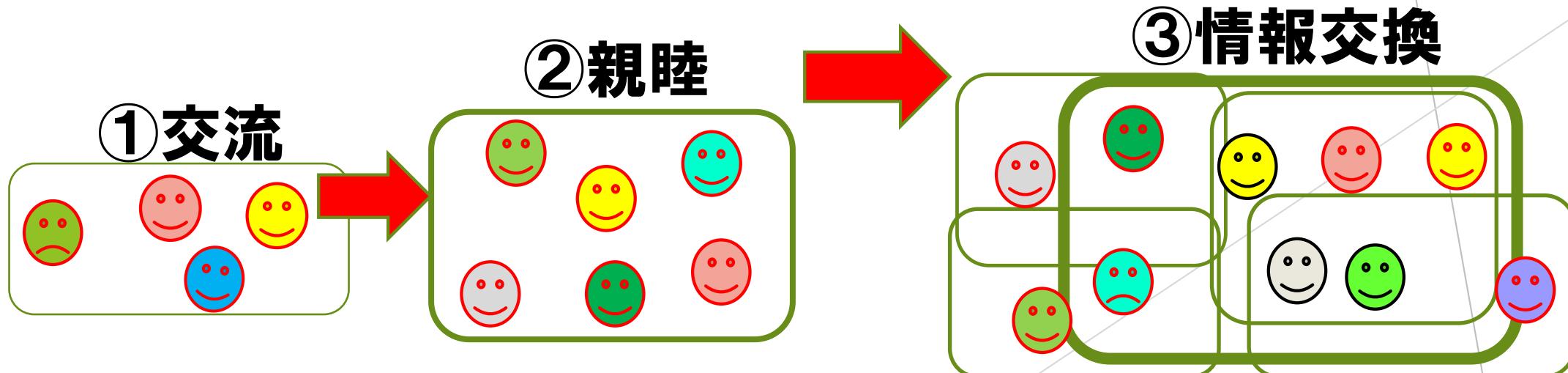
- ①一期一会の気持ちで参加。会員同士の意外な接点を発見。 ②継続して、発表者の自薦・他薦を促す

(3)会員名簿の整備とマーリングリストメンバーの拡大を図る。

- ①C・B世代の消息を掴んで、できるだけ多くマーリングリストに加入してもらう。 ②山岳部との交流を図る。

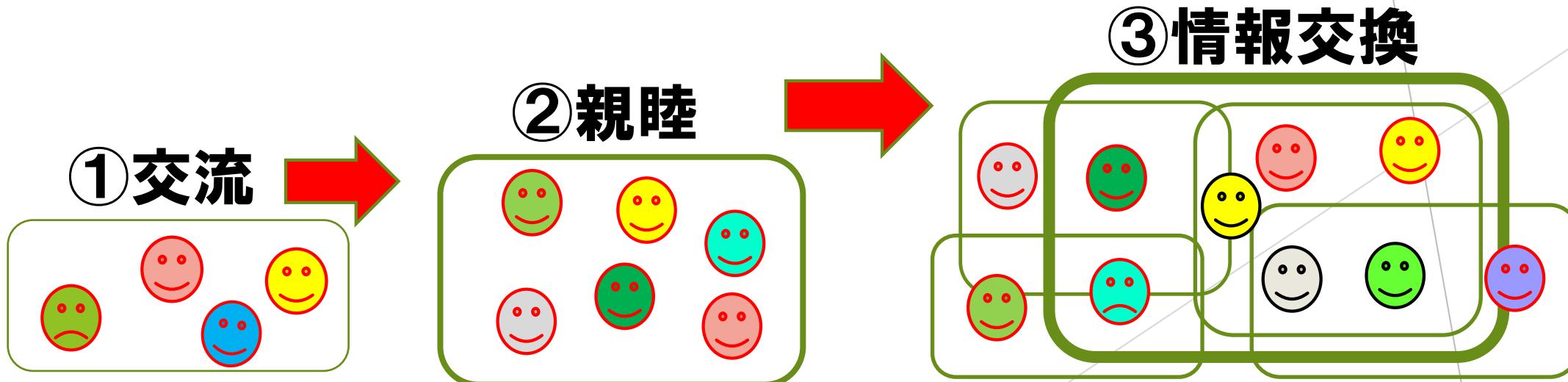
(4)海外に詳しく、ツテのあるOBが企画する海外旅行会を実施する。

- ①2年に1回、台湾、フィリピン、ベトナム、中国等をOBの案内で旅行する ②海外情報を現役の活動に生かす



7. 活発化のために、OB会が取り組む管理上の最小限の仕事・ルール

- (1)役員の総会への積極的参加と出欠連絡の徹底(来年は5月下旬開催)。
- (2)役員自らが寄付金を払う(役員にとって“拠出金”であることの理解)。
- (3)寄付者全員の氏名をWEBサイトの固定ページに掲示する(感謝の表明)。
- (4)協賛企業をあと1社増やして、財源を安定化する。
- (5)経費の節減とガラス張りの資金管理。



7. 話変わって、1970年前半世代（通称：青春の会）は、こんな旅行会をやってきました。

第1回 2013年2月 <東京> 幹事：小島広海	第2回 2015年7月 <宮城> 幹事：禪洲茂	第3回 2017年6月 <岐阜> 幹事：長瀬松男	第1回 海外旅行会 2018年	第4回 2019年 <静岡> 幹事：松下明	第2回 海外旅行会 2020年
●柴又帝釈天 ●東京スカイツリー (9名参加、 内1名先輩OB)	●松島 ●仙台（青葉城） (9名参加、 内1名先輩OB)	●長瀬実家 ●飛驒高山 ●白川郷 (9名参加、 内3名先輩OB)	●秘密だそうです		
				 	 

以上は幹事長として、会則をまとめ、運用するにあたっての個人的な考え方を記しました。

要は、OB会を活発化することで、
2つの人生目標につながれば幸いです。

- ①豊かな人脈の形成と活力のある人生を生き抜く。
- ②現役の活動を支援することで、市大探検部が大きな活動実績を残す。

それでは、役員全員の自己紹介に入りましょう。
その後に、主幹事による進捗状況と問題点の協議に入れます。